



星空ウォッチング

梵珠少年自然の家

1 活動のねらい

- 星空に関する疑似体験(プラネタリウム)や説明などにより、天体への興味、関心を持たせることができます。
- 星や星座を実際に見つける活動を通して、天体に関する基礎知識、技術を身につけることができます。

【教科への対応】 小学校：理科など 中学校：理科など

【組合せ可能な活動プログラム】 暗闇ビンゴなど

2 活動の概要

室内において、主要な星や星座の基礎知識について、疑似体験（プラネタリウム）などを通して理解を図り、その後、実際に外へ出て活動します。実際の活動として、タブレット端末などを利用して星や星座の位置を確認する活動などを行います。



(1) 人数 60人以内

※室内説明を60人入替制で行えば、120人まで可能

(2) 対象 小学校5年生～中学生・高校生

(3) 期間 4月下旬～11月上旬

(4) 時間 30分～1時間（説明10分＋活動20～50分）

(5) 場所 研修室1、星見の広場

(6) 経費 無料

(7) 指導 実施方法等について、自然の家職員が説明（直接または間接指導）を行う。

3 準備物

団 体	救急薬品
個 人	夜の野外活動にふさわしい服装、必要に応じて虫除けスプレー等
自然の家	鉛筆、観察シート、天体望遠鏡（ミニ・ビッグ）、タブレット端末

4 引率者の役割分担

役割名	内 容
代表責任者	1名。責任者として自然の家に残り、全体の総括、指揮、連絡にあたる。
活動支援者	2～3名。星や星座を見つける活動、タブレット端末で月や星などを観察する活動を支援する。
安全管理者	1～2名。活動場所、活動範囲から外へ出ていかないように巡回指導する。また、緊急時に対応する。

5 活動の流れ

	内 容
説 明 準 備 (研修室 1)	・屋内（研修室 1）で、主要な星や星座（北極星や夏の大三角など）の見つけ方について、天井のプラネタリウムを使って説明。 ・活動班や活動における留意点などの確認。
活 動 (星見の 広場)	・屋外（星見の広場）に移動して活動をする。 ■星や星座を見つける活動 ☆北極星や夏の大三角形など、説明をもとに自分の目で見つける。 ☆正しい位置を、タブレット端末などを使って確認する。 ・混雑しないように、班分けや時間制限など、やくそくを決めて活動する。
まとめ	・ふりかえりをする。 ・借用物品を返却する。

6 実施上の留意点

- ・雨天、荒天時は、屋内での説明のあと、星空に関するVTRを視聴するか、代替プログラムを実施するか、あらかじめ決めておく。（事前研で担当者と要相談）
- ・日没が遅くなる時期などは、思うように観察できない場合もあるため、時間設定（先に入浴するなど）をあらかじめ決めておく。（事前研で担当者と要相談）
- ・「暗闇ビンゴ」の待ち時間にプラネタリウム体験や星空観察を行うこともできる。
- ・月が観察できる日は、天体望遠鏡を設置して観察することもできる。（事前に天体ソフトなどで月が見える日時を確認し、事前研などで担当者と相談しておく）

7 安全に実施するためのポイント

- ・活動場所、活動範囲から外へ出ていかないように指導する。
- ・天体望遠鏡やタブレット端末などの操作は、引率者（大人）が必ずついて指導する。

【改訂ポイント】

- ・プラネタリウム体験とタブレット端末での観察を主な体験とした。
- ・暗闇ビンゴなど、他の活動プログラムとの組み合わせを推奨する。

8 エリア地図

